

こんにちは！保健婦です

早ければ治る「がん」です
検診を受けましょう！

町では毎年「がん検診」を行なっています。内容としては、胃・子宮・肺・乳房の4種類です。今回は7月に行なわれる胃がん検診についてお話します。

まずは最初に、町の国保の状況をみてみましょう。(図I・II) 図のように、がんのため診療を受けた件数は、かぜ・ぜんそくや、胃腸病などに比べ少ないですが、医療費で見ると、件数のわりに医療費がかかり、1件にかかる費用は莫大なものだといふことがわかります。

次に、町で行なっている胃がん検診の受診状況ですが、受診者はわずかずつすが増加傾向

です。しかし、まだ40才以上の方の14%の方が受けているにすぎません。では、なぜ胃がん検診が重要なのでしょうか。すべてのがんがそうですが、胃がんも初期にはほとんど症状がありません。たとえあってもきわめて軽い程度で、食べすぎや飲みすぎのような状態です。ですから、食欲が低下してきた体重が減ってきたなど、自覚症状がでたら病院で検査すると、もしがんであればかなり進行しているわけです。

がん検診で発見された胃がんは、そのほとんどが早期胃がん

で、治る率は症状を訴えて病院で検査して発見されたものよりも3倍も良いことがわかっています。たとえ進行がんであっても、検診で発見された胃がんの治療効果はとて良い状況です。ここに、健康者を対象とする胃がん検診の重要性があるので

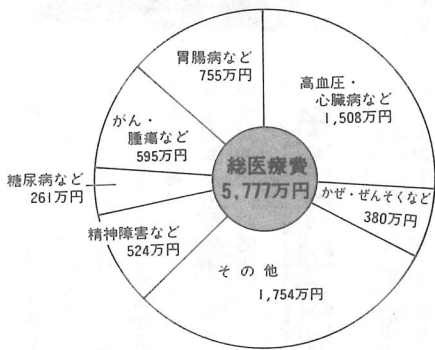
「がんはやはり」早期発見・早期治療「がもっとも大切です。

皆さん、近所の方と誘い合いながら年に一度は必ず「がん検診」を受けましょう。

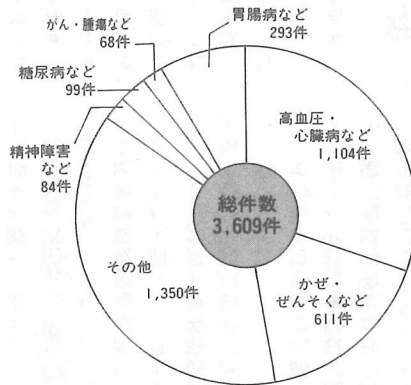
善意ありがとうございます

- 故椎名登元町長ご遺族 林 一郎さん(新島本郷) 社会福祉のために五十万円
- 前横芝中学校教頭 宇野克彰さん(古川) 中学校教育備品に三十万円
- 故真行寺勇元助ご遺族 小川充之さん(本町) 二十万円
- 秋元正実さん(上町) チャリティ収益金の一部十万円を社会福祉のために
- 立会老人クラブ 会員の蓄えた六万七千四百五十円を社会福祉のために

横芝町国保の状況



昭和59年10月分



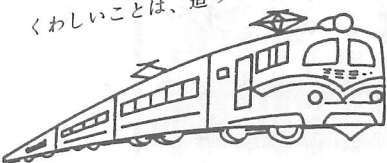
胃ガン検診

7月に実施する胃がん検診の日程は次の通りです。

- 7月1日 大総会館
- 7月2日 上堺会館
- 7月3～6日 文化会館

詳しくは回覧文書をご覧ください。

特急列車町村民号
下呂温泉晩秋の旅
11月13日(水)～15日(金)
くわしいことは、追ってお知らせします



■ 献血にご協力を
あなたの健康な血液を医療にお役立てください。
■ 日時 6月24日(月)
午前9時半～午前11時半
午後12時半～午後3時
■ 場所 横芝町役場

＋ 赤十字社員になろう
災害時の救護活動・献血の普及などは、赤十字の大きな仕事です。これら活動に必要なお金は、赤十字社員(会員)に加入していただいた皆さんの社費(年額三百円以上)でまかなわれています。
5月1日より6月30日まで県下一斉に「赤十字社員加入運動」が行なわれております。この機会にぜひご加入ください。